

エコ学区かいらんばん 第10号

未来へ

みんなで取り組みば
大きな成果になるよ。
さあ、中をチェック!

恵み豊かな

地球環境を

引き継ぎたいと

感じている方へ。



市民による自治120年



梅逕学区

(下京区)

地域の安心安全と子ども環境学習クラブ

元梅逕中学校の一部を活用したミニ農園で小学生たちと野菜作りを行っています。野草や落ち葉から生成した堆肥の利用や、収穫したイモを用いたエコクッキングなどを通じ環境学習に取り組んでいます。



おひさま発電所と環境への取組



地域を中心に寄付を集め「おひさま発電所」を設置したことをきっかけに、各種イベントでのリユース食器導入など、様々なエコ活動に取り組んでいます。誰もがエコを身近なものに感じられるよう、更なるステップアップを目指します。

上鳥羽学区

(南区)

桂東学区

(西京区)

20年続く学区内の清掃活動

月2回の清掃活動を継続することで、学区内の不法投棄が大きく減少しました。また、学区内の清掃を行い、観光客にまちの美しさを感じてもらう「おもてなし」の活動に取り組んでいます。



エコ学区サポートセンター

エコ活動に関するご相談に対応し、地域のエコな取組の提案や助言等を行っています!

所在地 〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町13 京エコロジーセンター 2階事務室内

電話 075-641-3686

- 地下鉄・近鉄「竹田駅」下車東へ徒歩約12分 ● 京阪電車「藤森駅」下車西へ徒歩約5分
- 市バス 105・南5・臨南5・南8「青少年科学センター前」下車南へ徒歩約2分
- 名神高速道路「深草バスストップ」下車すぐ



発行 京都市環境政策局地球温暖化対策室 【電話】075-222-4555 【FAX】075-211-9286

毎月16日は「DO YOU KYOTO? デー」(環境に良いことをする日)です。公共交通の利用や省エネ・節電など、みんなで環境にやさしい取組を実践しましょう。

この事業は家庭ごみの有料指定袋の収入を活用しています。

この印刷物が
不要になれば
「雑がみ」として
古紙回収等へ!



未来の
ために、
いま選ぼう。



2030年に向けて
世界が共通した
持続可能な開発目標です



京都市
CITY OF KYOTO

京都市はSDGsを支援しています

京都市では、省エネなど環境にやさしいライフスタイルへの
転換に取り組む地域のエコ活動を支援しています。

一緒にエコ活動を始めてみませんか？

**エコ学区(市内の全学区)で
できること**

「エコ学区」では、地域でスムーズにエコ活動が
できるように、様々なプログラムを無料で利用する
ことができます。

地球温暖化や省エネをテーマにした学習会

地球温暖化等の環境問題や家で簡単にできる省エネなど、学区の希
望に沿った様々なテーマの学習会を開催できます。

実施例 広河原学区(左京区)では省エネに関する学習会を実施しました。



省エネ診断で光熱費を平均約 1.5万円節約

家庭の省エネ診断である「うちエコ診断」を受診できます。省エネの
専門家「うちエコ診断士」が、各家庭に合わせたオーダーメイドの省エ
ネ対策を提案します。平成 28 年度に「うちエコ診断」を受診された方は、
光熱費を平均で年間約15,000円削減されています。

実施例 今熊野学区(東山区)では、役員会議の前にうちエコ診断会を実施しました。



学区イベントへの環境啓発ブースの出展

夏祭りなどの学区のイベントに環境啓発ブースを出展して、参加者の
環境に対する意識を高めることができます。子ども向けや工作等、学区
の希望に沿ったテーマのブースを出展できます。

実施例 安朱学区(山科区)、太秦学区(右京区)では、地域のお祭りにおいて、自転車発電や手回し発電などの体験ブースを出展しました。



上記以外にも様々な支援がありますので、詳しくは、エコ学区サポートセンターまでお問い合わせください。

エコを通して、地域とのつながりを得ることができます！

桃山学区

(伏見区)

こどもエコライフチャレンジ※との連携

夏休みの自由研究にも役立つソーラークッカーや、ロ
ケットストーブの製作ワークショップを、桃山エコ推進委
員会の方々が地元の小学生に対して実施しました。

※京都市の全市立小学校で実施している、環境学習プログラム



フリーフリーマーケット

使わなくなった古い道具を持ち寄り無料で交換するこ
とで、修理・修繕して長く使うことを学びながら、学区
民同士のコミュニケーションを促すイベントを実施しまし
た。また、毎月 PTA の役員会で学習会を行っています。



室町学区

(上京区)

拠点のエコ化を通して、 省エネを実感することができます！

**朱雀第三
学区**

(中京区)

自治会館 × エコ

自治会館の照明のLED化と、電気使用量を見える化する
機器(HEMS)の導入により、CO₂ 排出量の削減を実感
しました。また、学習会を行い省エネ意識を高めました。



マンション × エコ

学区内の大通りに面するモデルマンションを選定し、
共用部分の照明のLED化を行いました。「省エネナビ(電
気消費量計測機器)を用いた体験型の連続学習会を通
して、節電効果を目に見える形で実感しました。



銅駝学区

(中京区)

知っていますか？ ヒートショックの怖さ

鷹峯学区

(北区)

健康長寿 × エコ

夏、熱中症が多く発生する「高齢者」「室内」への
対策として、社会福祉協議会のみなさんと高齢者のご
自宅を3回訪問し、「安全・快適・省エネ」な暮らしをお手伝いしました。
手が届きにくい場所にある、エアコンフィルタの掃除や、すだれの設置
の後、電気測定器で効果測定を行い、効果を把握しました。今後は、
冬の「ヒートショック」の対策など、健康長寿で地球にやさしい取組を
目指します。



日射を室内に入れないよう、すだれを
使って、窓の外で防ぎます。



室外機付近に熱がこもると、エアコン
の効率は極端に低下します。

冬も危ない! 「高齢者」「室内」

冬、暖かいリビングから寒い脱衣所・浴室、そこから熱い風呂、さら
に寒い浴室・脱衣所…と温度の急激な変化で、血圧が急に高くなったり、
低くなったりすることで身体がダメージを受ける「ヒートショック」。それ
が原因で死亡する人の約 9 割が高齢者と言われています。



京都環境賞 表彰学区をご紹介します

京都環境賞は、環境に関する市民の皆様の関心を高め、様々な実践活動の更なる推進を図ることを目的として、環境の保全に貢献する活動を実践されている市民や事業者の皆様を表彰する制度です。

平成30年1月30日に開催した第15回京都環境賞の表彰式では、エコ学区賞及びエコ学区奨励賞として、先進性や発展性のあるエコ活動を展開している8学区を表彰しましたので、ご紹介します。

京都環境賞 エコ学区賞

「松尾エコ塾」による省エネ・ごみ減量・エコ×防災などの、環境にやさしいまちづくり活動

松尾学区

(西京区)

地球温暖化の防止についての知識を深め、ライフスタイルを再考するため、『松尾エコ塾』を中心に「省エネ・ごみ減量」等の学習会やワークショップの開催を通じて地域の絆を深め、環境にやさしいまちづくりを進めています。

「省エネナビ(電気消費量計測機器)」を用いた体験型の連続学習会を、延べ115世帯で計35回実施し、各世帯の電力使用量を平均11.2%削減しました。その後「DO YOU KYOTO? クレジット制度※」への参加(延べ44名)や、小学校PTAバザーでの省エネアンケート調査、省エネ相談の実施を通して、エコライフの啓発を継続しています。 ※コミュニティの省エネ、節電の実績に応じ京都市が奨励金を交付する制度。



また、カードを使った防災対応ゲーム「クロスロード」のエコ・防災編を作成するなど、それぞれが独立して活動していた「エコと防災」の活動をより効果的に、かつ機能的に行うため、エコと防災を両立させ、学区に定着することを目標にしています。

活動の様子を自治連合会広報誌に掲載したり、楽しい場づくりを行うことで、参加者が新たなメンバーを集めて事業に参加するなど地域への広がりが実現しました。毎年継続して実施することで、学区民への普及啓発に力を入れています。

エコ活動が続けるため
大事にしていること

- ①日常生活に組み入れる
- ②忘れかけたところに再び実践
- ③みんなで取り組む



松尾エコ学区推進協議会
会長 荒木 祐靖 さん

京都環境賞 エコ学区奨励賞

上賀茂学区

(北区)

使用済てんぷら油の活用

お祭りで川に設置する、子どもたちが絵付けした行燈の光源として、使用済てんぷら油から製作したろうソクを使用しています。単に回収するだけでなく、再利用方法などを次世代に伝えていくことを目指しています。



「元町節電所」稼働中!

元町学区

(北区)

毎月第二土曜日を「元町エコの日」と設定し、コミュニティ回収や学習会、地域清掃など環境にやさしい取組を実践しました。1軒1軒が小さな「節電所」となり、学区全体に広まることを目指し、発信を続けていきます。



朱雀第四学区

(中京区)

いのちの再生・腐葉土

学区全体で集めた落ち葉を腐葉土として再利用し、新たな植物のために、地域住民と学校に無料で配布しています。落ち葉をごみとしてではなく、再利用するために集めることを通して、エコに対する意識を高めています。



レッツ・エコチャレンジ!

豊園学区

(下京区)

子育て世代のお母さん達を中心に、継続的にリメイク教室を開催しています。楽しい雰囲気、子ども達の記憶に残る学習会の方法を工夫し、長期にわたり活動していくことを目指しています。



そのほかの学区の取組については、裏面に掲載しています!

皆さん、「京都宣言」を ご存じでしょうか？

2017年12月10日、京都議定書誕生20周年を記念して開催した「地球環境京都会議2017」において、世界18箇国・地域から約1,000名の方々の御参加の下、パリ協定が掲げる今世紀後半の温室効果ガスの実質排出ゼロの実現に向けて、温室効果ガスの大排出源である都市の責務を示した「持続可能な都市文明の構築を目指す京都宣言」を発表しました。

地球規模での温暖化対策を促進し、恵み豊かな地球環境を未来に引き継いでいくため、何ができるか考えてみませんか。



京都宣言発表の様子

- ・京都市
- ・大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 総合地球環境学研究所
- ・一般社団法人 イクレイ日本
- ・公益財団法人 京都市環境保全活動推進協会

2050年の 世界の都市のあるべき姿

生命の源であり炭素吸収源でもある自然との共生が実現している。

ものを大切にする「もったいない」、「しまつ」の精神などに基づく生活文化の再構築により、市民の価値観やライフスタイルの転換が進んでいる。

環境教育・学習の促進により、さまざまな問題を自分自身の問題として捉え、自ら行動し、持続可能社会を構築する「担い手」が育成されている。

脱炭素化に貢献する
技術革新と同時に、気候変動による影響への適応策が十分に進んでいる。

廃棄物に含まれる有用金属等を再資源化する「都市鉱山」の活用などにより、循環型社会が構築されている。

省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの利用が飛躍的に拡大し、都市によるエネルギー自治が実現している。

都市交通システムの高度化により、環境負荷の低減と利便性の向上が両立している。

持続可能な社会の実現に向けた取組が貧困や格差などの社会問題の平和的解決に貢献している。

御意見をお待ちしています

ホームページで受付中（FAX も可：075-211-9286）
<http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000229986.html>

持続可能 京都宣言

検索

※ いただいた御意見はホームページ等で紹介する場合があります。

